



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 三井住建道路株式会社

コード番号 1776 URL <http://www.smrc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澤 誠之助

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 梶木 泰志

TEL 03-3357-9081

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	13,150	6.4	20	—	21	—	△17	—
25年3月期第2四半期	12,358	△0.0	△21	—	△22	—	△44	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △10百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △40百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	△0.92	—
25年3月期第2四半期	△2.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	19,215	5,314	27.4	284.17
25年3月期	22,749	5,362	23.4	286.97

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,270百万円 25年3月期 5,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	32,400	△1.4	870	△17.5	870	△18.4	410	△25.2	22.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	18,555,000 株	25年3月期	18,555,000 株
26年3月期2Q	6,564 株	25年3月期	5,973 株
26年3月期2Q	18,548,830 株	25年3月期2Q	18,549,520 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

個別業績予想

平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	31,500	△1.3	850	△16.7	400	△24.8	21.56	

(注) 当四半期における個別業績予想の修正有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想につきまして、現時点においては、「平成25年3月期 決算短信」（平成25年5月15日付）にて公表したのから変更はありません。
- 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【添付資料】

添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. (参考) 四半期個別財務諸表	10
(1) 四半期個別貸借対照表	10
(2) 四半期個別損益計算書	11
5. 補足情報	12
(1) 四半期個別業績の概要	12
(2) 四半期個別受注の概要	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れリスクが残るものの、政府が打ち出した経済対策及び金融政策の効果から、企業収益の改善と輸出や個人消費の持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復傾向で推移しました。

道路建設業界におきましては、労務・資機材の供給不足や価格高騰等の懸念材料はあるものの、被災地におけるインフラの復興需要に加え、大規模補正予算の執行による公共事業の増加や景況感の改善により設備投資と住宅投資も緩やかに増加し、総じて堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社をいう。以下同じ。)は、当期より「強靱な企業体質の創造」をコンセプトに掲げた「新中期経営計画(26/3期～28/3期)」をスタートさせ、その事業戦略に基づいた諸施策を推進し、事業量の確保と質の向上を図るとともに、市場性を捉えた投資・経営資源の配分を進め、利益確保に努めてまいりました。

その結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は173億3百万円(前年同期比15.6%増加)、売上高は131億50百万円(前年同期比6.4%増加)、経常利益は21百万円(前年同期は経常損失22百万円)、四半期純損失は17百万円(前年同期は四半期純損失44百万円)となりました。

なお、「新中期経営計画」の詳細につきましては、平成25年4月公表の「新中期経営計画策定のお知らせ」をご参照ください。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ35億33百万円減少して192億15百万円となりました。これは、受取手形・完成工事未収入金等が減少したこと等によりです。

負債合計は、同34億85百万円減少して139億1百万円となりました。これは、支払手形・工事未払金等が減少したこと等によりです。

純資産合計は、四半期純損失17百万円の計上、剰余金の配当等により同47百万円減少して53億14百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローにつきましては、仕入債務の減少等により営業活動によるキャッシュ・フローは6億61百万円の資金の減少(前年同期は6億34百万円の資金の増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により3億53百万円の資金の減少(前年同期は1億81百万円の資金の減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により46百万円の資金の減少(前年同期は44百万円の資金の減少)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、10億61百万円減少し、42億23百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日公表の連結業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

有形固定資産の減価償却方法の変更

当社の有形固定資産の減価償却の方法については、建物及びリース資産を除き定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社は、道路建設業界の市場環境が新規建設から維持補修へと変化していることを踏まえ安定的かつ持続可能な経営基盤の確立を目指して、当連結会計年度を開始年度とする新たな中期経営計画を策定しました。当該計画を達成するために必須の設備投資として、主要な生産設備である合材工場等をはじめとする製造・販売事業に関わる資産の大規模な更新と増強を計画しております。当連結会計年度以降の製品生産数量は安定すると期待され、また、当該計画に基づく新たな設備については、急激な技術的・経済的陳腐化がないと予想されることから予定耐用年数にわたって安定的に稼働することが見込まれています。

このように、当該計画に基づく設備投資等を契機として当社の有形固定資産の減価償却方法を改めて見直した結果、耐用年数にわたり均等に費用配分を行うことが、企業活動の実態をより適切に反映できるものと判断し、定額法を採用することといたしました。

この変更により、当第2四半期連結累計期間の売上総利益が25百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ26百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,290	4,231
受取手形・完成工事未収入金等	11,985	8,148
未成工事支出金	883	1,909
販売用不動産	2	2
材料貯蔵品	120	156
その他	339	390
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	18,610	14,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	947	919
機械及び装置(純額)	300	341
土地	2,485	2,491
その他(純額)	40	258
有形固定資産合計	3,774	4,010
無形固定資産	168	170
投資その他の資産		
破産更生債権等	25	21
その他	216	230
貸倒引当金	△46	△43
投資その他の資産合計	195	209
固定資産合計	4,138	4,390
資産合計	22,749	19,215
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	12,644	9,171
未払法人税等	530	35
未成工事受入金	910	1,820
完成工事補償引当金	31	31
賞与引当金	7	7
工事損失引当金	62	61
その他	1,253	712
流動負債合計	15,440	11,840
固定負債		
退職給付引当金	1,510	1,628
資産除去債務	72	71
その他	362	360
固定負債合計	1,946	2,060
負債合計	17,387	13,901

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,329	1,329
資本剰余金	1,541	1,541
利益剰余金	2,350	2,296
自己株式	△0	△0
株主資本合計	5,220	5,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	6
土地再評価差額金	97	97
その他の包括利益累計額合計	102	104
少数株主持分	39	43
純資産合計	5,362	5,314
負債純資産合計	22,749	19,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	12,358	13,150
売上原価	11,424	12,138
売上総利益	934	1,012
販売費及び一般管理費	955	991
営業利益又は営業損失(△)	△21	20
営業外収益		
受取利息	1	0
受取地代家賃	1	1
その他	5	3
営業外収益合計	8	6
営業外費用		
支払利息	—	0
支払保証料	8	4
その他	0	0
営業外費用合計	8	4
経常利益又は経常損失(△)	△22	21
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券清算益	2	—
特別利益合計	3	1
特別損失		
固定資産除却損	3	4
特別損失合計	3	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22	19
法人税等	16	31
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△38	△12
少数株主利益	6	4
四半期純損失(△)	△44	△17

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△38	△12
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	2
その他の包括利益合計	△1	2
四半期包括利益	△40	△10
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46	△14
少数株主に係る四半期包括利益	6	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△22	19
減価償却費	134	115
のれん償却額	5	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	52	118
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	0
工事損失引当金の増減額(△は減少)	8	△0
受取利息及び受取配当金	△1	△0
支払利息	—	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△1
固定資産除却損	3	4
売上債権の増減額(△は増加)	5,679	3,837
たな卸資産の増減額(△は増加)	△832	△1,061
その他の流動資産の増減額(△は増加)	80	△65
その他の固定資産の増減額(△は増加)	—	2
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,619	△3,473
未成工事受入金の増減額(△は減少)	647	909
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△124	△548
その他	△2	0
小計	1,010	△148
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△376	△513
営業活動によるキャッシュ・フロー	634	△661
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期積金の預入による支出	△1	△2
有形固定資産の取得による支出	△157	△336
有形固定資産の売却による収入	0	11
有形固定資産の除却による支出	△3	△0
投資有価証券の取得による支出	△0	△10
投資有価証券の償還による収入	—	10
資産除去債務の履行による支出	△5	△1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得に よる収入	8	—
その他	△22	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△181	△353
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7	△10
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△36	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44	△46
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	408	△1,061
現金及び現金同等物の期首残高	4,747	5,285
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,156	4,223

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	製造・ 販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,853	2,505	12,358	—	12,358	—	12,358
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,006	1,006	—	1,006	△1,006	—
計	9,853	3,511	13,365	—	13,365	△1,006	12,358
セグメント利益	518	415	934	—	934	—	934

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産取引に関する事業他を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	製造・ 販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,309	2,841	13,150	—	13,150	—	13,150
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	941	941	—	941	△941	—
計	10,309	3,782	14,091	—	14,091	△941	13,150
セグメント利益	602	409	1,012	—	1,012	—	1,012

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産取引に関する事業他を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計方針の変更等」に記載のとおり、当社の有形固定資産の減価償却の方法については、建物及びリース資産を除き定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

これにより、「建設事業」のセグメント利益が3百万円、「製造・販売事業」のセグメント利益が21百万円それぞれ増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. (参考) 四半期個別財務諸表

(1) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,054	3,947
受取手形・完成工事未収入金等	11,883	8,137
未成工事支出金	922	1,839
販売用不動産	2	2
材料貯蔵品	120	156
その他	335	403
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	18,306	14,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	945	917
機械及び装置(純額)	300	341
土地	2,479	2,485
その他(純額)	37	255
有形固定資産合計	3,763	4,000
無形固定資産		
	167	169
投資その他の資産		
破産更生債権等	25	21
その他	273	287
貸倒引当金	△46	△43
投資その他の資産合計	252	265
固定資産合計	4,184	4,435
資産合計	22,490	18,909
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	12,509	9,074
未払法人税等	517	29
未成工事受入金	905	1,684
完成工事補償引当金	31	31
工事損失引当金	62	61
資産除去債務	1	—
その他	1,230	736
流動負債合計	15,258	11,618
固定負債		
退職給付引当金	1,503	1,622
資産除去債務	72	71
その他	362	360
固定負債合計	1,938	2,054
負債合計	17,197	13,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,329	1,329
資本剰余金	1,541	1,541
利益剰余金	2,319	2,261
自己株式	△0	△0
株主資本合計	5,190	5,131
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4	6
土地再評価差額金	97	97
評価・換算差額等合計	102	104
純資産合計	5,292	5,236
負債純資産合計	22,490	18,909

この四半期個別貸借対照表は「四半期財務諸表等規則」及び「建設業法施行規則」に準拠して作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期個別損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	11,995	12,858
売上原価	11,112	11,898
売上総利益	882	959
販売費及び一般管理費	912	952
営業利益又は営業損失(△)	△29	7
営業外収益		
受取利息	0	0
受取地代家賃	1	1
その他	4	2
営業外収益合計	6	5
営業外費用		
支払利息	—	0
支払保証料	7	4
その他	0	0
営業外費用合計	7	4
経常利益又は経常損失(△)	△30	7
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券清算益	2	—
特別利益合計	3	1
特別損失		
固定資産除却損	3	4
特別損失合計	3	4
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△30	5
法人税等	9	26
四半期純損失(△)	△40	△21

この四半期個別損益計算書は「四半期財務諸表等規則」及び「建設業法施行規則」に準拠して作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

5. 補足情報

(1) 四半期個別業績の概要

平成26年3月期第2四半期の個別業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

① 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,858	7.2	7	—	7	—	△21	—
25年3月期第2四半期	11,995	△2.8	△29	—	△30	—	△40	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第2四半期	△1.16		—					
25年3月期第2四半期	△2.18		—					

② 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
26年3月期第2四半期	18,909	5,236	5,236	27.7	27.7	282.29	282.29	
25年3月期	22,490	5,292	5,292	23.5	23.5	285.34	285.34	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,236百万円 25年3月期 5,292百万円

(2) 四半期個別受注の概要

① 個別受注実績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	受注高	
	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,636	16.2
25年3月期第2四半期	14,314	6.2

(注) 1. 受注高は当第2四半期までの累計額
2. パーセント表示は、前年同四半期比増減率

	前第2四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		比較増減	増減率	
	百万円	%	百万円	%			
工 事 部 門	官 公 庁	4,188	29.3	5,874	35.3	1,685	40.3
	民 間	7,620	53.2	7,920	47.6	299	3.9
	計	11,809	82.5	13,794	82.9	1,985	16.8
製 品 等 部 門	2,505	17.5	2,842	17.1	336	13.5	
合 計	14,314	100.0	16,636	100.0	2,322	16.2	

(注) パーセント表示は、構成比率

② 個別受注予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	通 期	
	百万円	%
26年3月期予想	31,500	△1.6
25年3月期実績	32,014	2.9

(注) パーセント表示は、前年同期比増減率

以 上